



Cisco Unity Connection リリース 14 のリリース ノート

[Cisco Unity Connection リリース 14 のリリース ノート](#) 2

[目次](#) 2

[システム要件](#) 2

[アップグレード情報](#) 2

[ソフトウェア バージョンの判別](#) 2

[関連資料](#) 4

[新機能 - リリース 14](#) 4

[変更された機能 - リリース 14](#) 6

[インストールおよびアップグレード情報](#) 7

[制限事項と制約事項](#) 9

[注意事項](#) 9

[マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート](#) 11

[シスコ製品のセキュリティの概要](#) 11

改訂：2021年9月27日、

Cisco Unity Connection リリース 14 のリリース ノート

これらのリリースノートには、Cisco Unity Connection 14 の新機能と変更された機能、アップグレード情報、制限事項、制約事項に関する情報が含まれています。

目次

システム要件

Cisco Unity Connection Release 14 のシステム要件 (https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)

アップグレード情報

Unity Connection 12.x、11.x、10.x から Unity Connection 14 にアップグレードできます。アップグレードプロセスとサポートされるアップグレードパスの詳細については、次の URL から『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[Upgrading Cisco Unity Connection](#)」の章を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html

ソフトウェアバージョンの判別

この項では、次のソフトウェアで使用されているバージョンを特定する手順について説明します。

- [Cisco Unity Connection アプリケーション](#) (2 ページ)
- [Cisco Personal Communications Assistant アプリケーション](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Operating System](#) (3 ページ)

Cisco Unity Connection アプリケーション

この項は2つの手順で構成されています。バージョンを特定するのに、Unity Connection Administration かコマンドラインインターフェイス (CLI) セッションのどちらを使用するかに応じて、適切な手順を使用してください。

Cisco Unity Connection Administration の使用

手順

Cisco Unity Connection Administration で、ナビゲーションリストの右上隅にある **[About]** を選択します。

コマンドライン インターフェイスの使用

始める前に

手順

ステップ 1 コマンドライン インターフェイス (CLI) セッションを開始します。(詳細については、『Cisco Unified Communications Operating System Administration Help』を参照してください。)

ステップ 2 Unity Connection のバージョンを表示するには、**show cuc version** コマンドを実行します。

Cisco Personal Communications Assistant アプリケーション

ここでは、Cisco PCA アプリケーションを使用してバージョンを決定する手順について説明します。

Cisco PCA アプリケーションの使用

手順

ステップ 1 Cisco PCA へサインインします。

ステップ 2 Cisco PCA のホーム ページで、右上隅の [バージョン情報 (About)] リンクを選択します。(このリンクは、各 Cisco PCA ページにあります)。

ステップ 3 Unity Connection のバージョンが表示されます。これは Cisco PCA のバージョンと同じです。

Cisco Unified Communications Operating System

この項は2つの手順で構成されています。バージョンを特定するのに、Cisco Unified Operating System Administration かコマンドライン インターフェイス セッションのどちらを使用するかに応じて、適切な手順を使用してください。

Cisco Unified Operating System Administration の使用

手順

Cisco Unified Operating System Administration では、サインイン後に表示されるページの青いバナーの「Cisco Unified Operating System Administration」の下に、システム バージョンが表示されます。

コマンドライン インターフェイスの使用

始める前に

手順

ステップ 1 コマンドライン インターフェイス セッションを開始します。（詳細については、Cisco Unified Operating System Administration のヘルプを参照してください）。

ステップ 2 Cisco Unified オペレーティングシステムの管理のバージョンを表示するには、**show version active** コマンドを実行します。

関連資料

- 仮想化の要件については、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 14*』の「Requirements for Installing Unity Connection 14 on a Virtual Machine」の項を、デフォルトのライセンス ファイルについては「Licensing Requirements」の項を参照してください。このドキュメントは、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html からご利用いただけます。
- 既存の Unity Connection 物理サーバから新しい仮想マシンに移行する手順については、次の URL から『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection 14*』の「Maintaining Cisco Unity Connection Server」の章にある「[Migrating a Physical Server to a Virtual Machine](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html)」の項を参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html
- Unity Connection に関するすべてのドキュメントの詳細については、次の URL にある『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection Release 14*』を参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/roadmap/b_14cucdgm.html

新機能 - リリース 14

この項では、リリース 14 のタイム フレームのみでの新機能について説明します。

リリース番号体系の簡素化

Cisco Unity Connection リリース 14 以降では、シングル ナンバー リリース プランを導入しています。過去のバージョンリリースでの「.5」のような、小数点付きのリリースは今後は使用されません。サービスアップグレードリリースは、ソフトウェア メンテナンス サイクルを通じて、メイン リリースに付加する形で公開されます。

Google Workspace を使用したユニファイド メッセージング

Cisco Unity Connection 14 以降では、ユーザが Gmail アカウントで仕事用の電子メールやボイス メッセージにアクセスするための、新しい方法が提供されています。これにより管理者は、ユニファイドメッセージングを Google Workspace に統合できます。Google Workspace を使用すると、Unity Connection と Gmail サーバ間でボイス メッセージを同期するように Unity Connection を設定することができます。ユーザに送信される Unity Connection ボイス メッセージはすべて、最初に Unity Connection に保存されてから、ユーザの Gmail アカウントに同期されます。

Google Workspace を使用したユニファイドメッセージングの設定の詳細については、次の URL にアクセスして『*Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection 14*』の「[Configuring Unified Messaging](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/unified_messaging/guide/b_14cucumgx.html)」の章を参照してください。https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/unified_messaging/guide/b_14cucumgx.html

Docker のコンテナ化によるリソース コントロール

Cisco Unity Connection リリース 14 以降は、Docker のコンテナ化によるリソース コントロールをサポートしています。この機能の主な目的は、実行中の Tomcat Web アプリケーションによる、アプリケーションのシステム管理者アクセスのロックアウトを防ぐことです。

この機能には次のような利点があります。

- コンテナ内で実行されている個々のサービスが、設計されている制限を大幅に超えてリソースを消費しないよう調整を行う。
- 他のコンテナで他の Web アプリケーションに影響を与えることなく個々のコンテナを再起動する。

アーキテクチャの詳細については、次の URL にある『*Design Guide for Cisco Unity Connection 14*』の「Cisco Unity Connection Overview」の章にある「Cisco Unity Connection の概要」の「[Resource Control through Docker Containerization](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/design/guide/b_14cucdg.html)」の項を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/design/guide/b_14cucdg.html

この機能をサポートするために実装された新しい CLI コマンドの詳細については、次の URL から『*Command Line Interface Reference Guide for Cisco Unified Communications Solutions, Release 14*』の「Utils Commands」の章を参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>

データベースへのセキュアなアクセス

Cisco Unity Connection の以前のリリースでは、オープンデータベース コネクティビティ (ODBC) からデータベースにアクセスするために **Connection Database Proxy** サービスをサポートしています。このサービスを有効にすることで、オフボックスのクライアントは ODBC データベースにアクセスすることができます。

Cisco Unity Connection リリース 14 以降は、データベースへのセキュアな ODBC アクセスをサポートしています。セキュアな接続を処理するための受信リクエストのリッスン用に新しいセキュアなポートが導入されています。

ポートの詳細については、次の URL から『*Security Guide for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[IP Communications Required by Cisco Unity Connection](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/security/guide/b_14cucsecx.html)」の章を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/security/guide/b_14cucsecx.html

ソフトウェアおよび制御キーにデジタル署名する

Cisco Unity Connection では、ファイルをアップグレードするための暗号化が向上されています。すべての COP および ISO アップグレードファイルが、SHA1SUM ハッシュベースの署名ツールで署名されるようになりました。SHA-1 は廃止され、SHA-2 (SHA-512 など) が代替となっています。

Cisco Unity Connection リリース 14 以降では、すべての新しい COP および ISO ファイルが SHA512SUM ハッシュベースの署名ツールで署名されます。COP と ISOs では、拡張子「.sgn」ではなく、名前に「.sha512」の拡張子が付いています。たとえば、`ciscocm.free_common_space_v1.5.cop.sha512` のようになります。

詳細については、次の URL から『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[Upgrading Cisco Unity Connection](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html)」の章を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html

バージョンに依存しないライセンス

Cisco Unity Connection は、バージョンに依存しないユーザライセンスをサポートしています。ライセンスは、年間契約で、サブスクリプション期間に対して発行されます。これらの V14 ライセンスは、Flex EA（エンタープライズアグリーメント）または Flex NU（名前付き—プロフェッショナル、拡張、アクセス）からご注文いただけます。詳細については、次の URL から『Cisco Unity Connection Ordering Guide』を参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us/partners/tools/collaboration-ordering-guides.html>

Cisco Unity Connection では、引き続きバージョン 12.X ライセンスを使用しています。カスタマー スマートアカウント 12.X で、最初に 12.X のユーザライセンスをリクエストし使い切り、利用できなくなった場合は、v14 のバージョンに依存しないライセンスを使用できます。

ライセンスは CSSM（Cisco Smart Software Manager）で管理されます。詳細については、次の URL から『Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection Release 14』の「Managing Licenses」の章を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html

音声テキスト変換の通知イベント

Cisco Unity Connection リリース 14 以降は、新しいボイスメールの音声テキスト変換イベントをサポートしています。音声テキスト変換が利用可能になったときにボイスメールのクライアントアプリケーションに通知するための新しいイベントが導入され、クライアントアプリケーションで、エンドユーザ向けにボイスメールの音声テキスト変換を実装できるようになりました。

サブスクリプションイベントの詳細については、次の URL から『Cisco Unity Connection Notification Interface (CUNI) API Guide.』の「Cisco Unity Connection Notification Interface (CUNI) API -- Subscribing to and Processing Notification Events」の章を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/REST-API/CUNI_API/b_CUC_CUNI_API.html

MS Exchange 以外のサーバを使用した SpeechView

Cisco Unity Connection は、SpeechView ボイスメール音声のテキスト変換を有効にするオンプレミス MS Exchange サーバ以外のメールボックスとの統合をサポートしています。管理者は、Microsoft Office 365 メールボックスを使用して、SpeechView サーバからの音声のテキスト変換を含む、着信電子メールを受信することができるようになりました。Microsoft Exchange Server への依存をなくすことで展開を容易にしています。

変更された機能 - リリース 14

この項では、リリース 14 のタイムフレームのみでの変更された機能について説明します。

Microsoft Office 365 によるユニファイドメッセージング向けに拡張性を強化

Cisco Unity Connection リリース 14 以降では、Microsoft Office 365 を使用したユニファイドメッセージングでの最大ユーザ数が増えました。

サポートされているユーザ数については、次の URL にアクセスして『Cisco Unity Connection 14 Supported Platforms List』を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/supported_platforms/b_14cucspl.html

インストールおよびアップグレード情報

仮想マシンへの Cisco Unity Connection の初回インストール

VMware OVA テンプレートをダウンロードして展開する必要があります。これを行うと、Unity Connection の仮想マシンが自動的に設定されます。テンプレートをダウンロードするには、次の「[Unity Connection 14 仮想マシン用の VMware OVA テンプレートのダウンロード](#)」の項を参照してください。インストールと移行のドキュメントに、テンプレートを展開するタイミングが説明されています。



(注) ESXi バージョンのアップグレードの詳細については、次の URL にアクセスして該当する OVA の ReadMe を参照してください。 <https://software.cisco.com/download/home/283062758/type>

Unity Connection 14 仮想マシン用の VMware OVA テンプレートのダウンロード

VMware OVA テンプレートを使用して VMware for Unity Connection を設定することで、仮想マシンの設定プロセスが簡単になります。Unity Connection 用の VMware OVA テンプレートを展開する場合は、次の手順を実行して OVA ファイルをダウンロードします。

VMware OVA テンプレートをダウンロードする手順：

手順

ステップ 1 高速インターネットに接続しているコンピュータにサインインし、次の URL にある [Voice and Unified Communications Downloads] ページにします。 <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html?mdfid=280082558>

(注) ソフトウェアのダウンロード ページにアクセスするには、登録ユーザとして Cisco.com にログインする必要があります。

ステップ 2 [ダウンロード (Downloads)] ページのツリー コントロールで、[製品 (Products)] > [ユニファイド コミュニケーション (Unified Communications)] > [ユニファイド コミュニケーション アプリケーション (Unified Communications Applications)] > [メッセージ (Messaging)] > [Unity Connection] を開き、[Cisco Unity Connection の仮想化 (Cisco Unity Connection Virtualization)] を選択します。

ステップ 3 [ダウンロード ソフトウェア (Download Software)] ページで、OVA-14 を選択すると、ダウンロード リンクがページの右側に表示されます。

ステップ 4 ご使用のコンピュータに、ダウンロードしたファイルに十分なハードディスク領域があることを確認します (ダウンロード ファイルのサイズは、ダウンロード リンクの下に表示されます)。

ステップ 5 該当するリンクを選択してダウンロードを行います。

制限付きバージョン	UCSInstall_CUC_14.0.1.10000-19.sgn.iso
無制限バージョン	UCSInstall_CUC_UNRST_14.0.1.10000-19.sgn.iso

OVA ファイルでは次の構成を使用することができ、OVA テンプレートを展開するために必要な設定を選択できます。

- 最大 1,000 Unity Connection ユーザ向け。
 - 64 KB ブロックでアラインメントされたファイル システムで、1 台の仮想 CPU、4 GB の RAM、および 1 台の 160 GB の仮想ディスクを設定します。
 - 64 KB ブロックでアラインメントされたファイル システムで、2 台の仮想 CPU、4 GB の RAM、および 1 台の 160 GB の仮想ディスクを設定します。
- 最大 5,000 Unity Connection ユーザ向け。
 - 64 KB ブロックでアライメントされたファイル システムで、2 台の仮想 CPU、6 GB の RAM、および 1 台の 200 GB 仮想ディスクを設定します。
- 最大 10,000 Unity Connection ユーザ向け。
 - 64 KB ブロックでアラインメントされたファイル システムで、4 台の仮想 CPU、6 GB の RAM、および 2 台の 146 GB 仮想ディスクを設定します。
 - 146 GB、300 GB、および 500 GB の 3 種類があります。300 GB と 500 GB では、Unity Connection 仮想マシンが存在するデータストアは、2 MB 以上の VMware VMFS ブロック サイズでフォーマットする必要があります。ブロック サイズが 1 MB の場合、仮想ディスクの最大サイズは 256 GB に制限されます。ブロック サイズが 2 MB になると、512 GB の仮想ディスクを使用できます。
- 最大 20,000 Unity Connection ユーザ向け。
 - 64 KB ブロックでアライメントされたファイル システムで、7 台の仮想 CPU、8 GB の RAM、および 2 台の 300 GB または 500 GB の仮想ディスクを設定します。
 - 64 KB ブロックでアライメントされたファイル システムで、7 台の仮想 CPU、10 GB の RAM、および 2 台の 300 GB または 500 GB の仮想ディスクを設定します。

インストールおよびアップグレードに関する注意事項

追加の Unity Connection 言語のインストール



(注) Unity Connection 14 のすべてのロケールがリリースされており、次の URL にある Software Download のサイトからご利用いただけます。 <https://software.cisco.com/download/home/286328409/type>

次のサーバタイプに追加の Unity Connection 言語をインストールする手順については、参照先のドキュメントを参照してください。

- Unity Connection サーバについては、次の URL から『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection*』の「Maintaining Cisco Unity Connection Server」の章にある「Adding and Removing Unity Connection Languages」の項を参照してください。 https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html
- Cisco Unity Connection Administration をローカライズするために日本語をインストールする場合は、Cisco Unified Communications Manager の日本語ロケールもインストールする必要があります。詳細については、次の URL で該当する『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』の「Software Upgrades」の章にある「Locale Installation」の項を参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>
- Cisco Personal Communications Assistant をローカライズするために他の言語をインストールする場合は、対応する Cisco Unified Communications Manager のロケールもインストールする必要があります。『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』（http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html）の「Software Upgrades」の章の「Locale Installation」の項を参照してください。

非アクティブパーティション上の Unity Connection バージョンへのサーバの復帰

Unity Connection 14 から以前のバージョンの Unity Connection に戻した場合、Unity Connection 14 の新しい機能に関するデータの一部は失われ、これらは Unity Connection 14 に再度アップグレードするときに回復することができません。

制限事項と制約事項

ViewMail に関する安全なメッセージングの制限事項

Microsoft Outlook バージョン 11.0 以降の Cisco ViewMail で作成されたセキュア メッセージへの非音声添付ファイルの追加は、Unity Connection 14 ではサポートされていません。

ボイス メッセージの再生に Internet Explorer を使用した場合に問題を引き起こす可能性

QuickTime プレイヤーのセキュリティ上の問題のため、Unity Connection では、ボイス メッセージの再生に Internet Explorer で QuickTime プレイヤーを使用することは推奨されません。

注意事項

この項では、警告情報について以下に示しています。

解決済みの不具合

Cisco Unity Connection バージョン 14 の最新の警告情報は、バグ検索ツールを使用して確認できます。このツールは、お客様が必要に応じて不具合を照会できるオンライン ツールで、https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=280082558&rls=14.0&sb=fr&svr=3nH&bt=custV からご利用いただけます。

バグ検索ツールは <https://tools.cisco.com/bugsearch> からご利用いただけますが、アクセスするには、Cisco.com に登録済みユーザとしてログインしている必要があります。

未解決の警告— Unity Connection リリース 14

このリリースのタイム フレームには sev1 ~ sev3 の未解決の警告はありません。

関連する警告 : Unity Connection 14 で使用される Cisco Unified Communications Manager 14 のコンポーネント

表 1 : Unity Connection 14 で使用されている Cisco Unified CM 14 のコンポーネントに、Unity Connection で使用されている Cisco Unified CM のコンポーネントを示しています。Cisco Unified CM のコンポーネントに関する警告情報は、次の URL にある *Release Notes for Cisco Unified Communications Manager Release 14* を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-release-notes-list.html>

表 1 : Unity Connection 14 で使用されている Cisco Unified CM 14 のコンポーネント

Cisco Unified CM コンポーネント	説明
backup-restore	バックアップと復元のユーティリティ
ccm-serviceability	Cisco Unified Serviceability の Web インターフェイス
cdp	Cisco Discovery Protocol ドライバ
cli	CLI (コマンドライン インターフェイス)
cmui	Unity Connection Web インターフェイスの特定の要素 (検索テーブルやスプラッシュ画面など)
cpi-afg	Cisco Unified Communications Answer File Generator
cpi-appinstall	インストールとアップグレード
cpi-cert-mgmt	証明書の管理
cpi-diagnose	自動診断システム
cpi-os	Cisco Unified Communications Operating System
cpi-platform-api	Cisco Unified Communications オペレーティング システムとプラットフォームでホストされたアプリケーションとの間の抽象化層
cpi-security	サーバへの接続に関するセキュリティ
cpi-service-mgr	サービスマネージャ (ServM)
cpi-vendor	外部ベンダーの問題
cuc-tomcat	Apache Tomcat およびサードパーティ製ソフトウェア

Cisco Unified CM コンポーネント	説明
database	構成データベース (IDS) のインストールとアクセス
database-ids	IDS データベースのパッチ
ims	アイデンティティ管理システム (IMS)
rtmt	Real-Time Monitoring Tool (RTMT)

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものとみなされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html [英語] で参照できます。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>